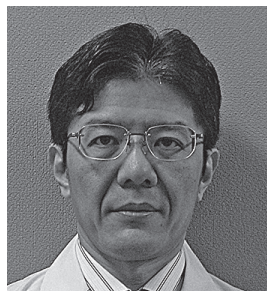


科 名：脳神経外科



副院長
塚原 徹也

専門医資格等
脳神経外科専門医
脳卒中専門医
専門分野
脳神経外科
得意疾患
脳血管障害



医長
福田 俊一

専門医資格等
脳神経外科専門医
脳卒中専門医
専門分野
脳神経外科
得意疾患
脳動脈瘤
良性脳腫瘍
頭蓋底手術

□スタッフ

平成23年10月1日時点

役職	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	青 木 友 和	日本脳神経外科学会 専門医、日本脳卒中学会 専門医、日本癌治療学会 暫定教育医	脳神経外科	悪性能腫瘍、顔面痙攣、三叉神経痛
医 師	中久木 卓也	日本神経内視鏡学会技術認定医	脳神経外科	下垂体腫瘍、内視鏡手術
医 師	後 藤 正 憲	脳神経血管内治療(学会)専門医	脳神経外科	脳血管内手術
専 修 医	新 井 大 輔		脳神経外科	

□診療科の特徴

施設認定等 日本脳神経外科学会研修施設

1. 当科は、脳卒中や頭部外傷などの脳神経外科領域の救急疾患に24時間対応し、地域救急医療に貢献していると同時に、困難な脳神経系疾患に対して集約的な治療も行っています。
2. 脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷、脊髄疾患など脳神経外科領域全般にわたって、患者さんの入院および外来加療を行っています。
3. 脳神経外科領域の疾患では、緊急に手術等の処置を行わなければ生命にかかわる場合もあれば、逆に病気はあるものの、定期的に外来で経過を観て行くことが適当である場合もあります。
4. 上記3のような場合を除けば、手術をすべきかどうかは、その疾患自体だけではなく、症状や年齢、全身状態、手術の難易度、さらには患者さんの性格や家族構成などを考慮して決めるべきであり、たとえ同じ疾患でも個々の患者さんによって方針が異なって来ます。
5. 私たちは、患者さんご自身やご家族に十分に病気についての説明をし、相談をした上で、インフォームドコンセントをとり、その上で適切な治療方針をとることが大切であると考えています。
6. いったん手術が必要であると決まった場合には、たとえ難易度の高い手術でも、従来の顕微鏡を用いた開頭手術に加え、血管内手術や神経内視鏡手術などの様々な手術法を用い、積極的に治療を行っています。

□代表的診療対象疾患

- ・脳血管障害(脳梗塞・クモ膜下出血・未破裂脳動脈瘤・脳内出血・その他の脳血管障害)
- ・脳腫瘍(グリオーマ・下垂体腺腫・頭蓋底腫瘍・聴神経腫瘍・転移性脳腫瘍・脳内リンパ腫・髄膜腫・頭蓋咽頭腫)
- ・神経内視鏡手術
- ・頭部外傷
- ・機能的脳神経外科(顔面けいれん・三叉神経痛)

□診療(業務)内容

- ・脳血管障害(脳梗塞に対する血行再建術・破裂および未破裂脳動脈瘤に対するクリッピング術・脳内出血に対する開頭摘出術、内視鏡手術)
- ・脳神経血管内治療(脳動脈瘤塞栓、ステント設置、腫瘍塞栓、脳動静脈奇形塞栓など)
- ・脳腫瘍(グリオーマ・下垂体腺腫・頭蓋底腫瘍・聴神経腫瘍・転移性脳腫瘍・脳内リンパ腫・胚細胞腫・髄膜腫・頭蓋咽頭腫)に対する摘出術
- ・神経内視鏡手術(下垂体腫瘍、脳室内腫瘍、水頭症、脳内出血など)
- ・頭部外傷(血腫除去術)
- ・脊椎背髄疾患
- ・機能的脳神経外科(顔面けいれん・三叉神経痛に対する神経減圧術)

頭蓋底および頸部腫瘍：腫瘍摘出および血行再建術

入院患者数

	1 日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
2011年度	33.1	411	28.0

外来患者数

	1 日平均患者数	紹介率	逆紹介率
2011年度	43.3	50.4%	45.3%

主な手術・検査の件数など

	脳動脈瘤	脳腫瘍	脳血管内手術	脳動静脈奇形	頸動脈内膜剥離術	血管バイパス術
2011年度	38件	44件	46件	5件	20件	15件

□地域医療連携・広報活動

第8回脳卒中市民講座 2011年1月29日、於：京都医療センター

第9回脳卒中市民講座 2011年12月11日、於：京都第二赤十字病院

□学術活動報告(学会・研究発表など)

年	場 所	内 容
2011	大阪	新井大輔、山口将、太田剛史、中久木卓也、福田俊一、塚原徹也；長期ステロイド内服中にノカルジア脳腫瘍を来した1例、第61回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会、2011/4/25、大阪
	京都	中久木卓也、浅原哲子、福田俊一、村上守、新井大輔、山口将、中村道三、大谷良、山陰一、塚原徹也；脳梗塞患者における血中アディポサイトカインの検討、第36回日本脳卒中学会総会、2011/7/30、京都
	京都	新井大輔；Black-Blood MRIによるプラーク診断に基づく頸部頸動脈狭窄症に対する治療選択の検討、第36回日本脳卒中学会総会、2011/7/30、京都
	京都	後藤正憲；DSAとMRIを利用した3D fusion imageによる術前検討の有用性、第40回日本脳卒中の外科学会、2011/7/30、京都

大阪	青木友和、寺崎瑞彦、渋井壮一郎、成田善孝、藤巻高光、澤村豊、栗栖薫、伊藤恭悟；再発膠芽腫に対する個人化ペプチドワクチンの第1相試験の報告、第62回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会、2011/9/3、大阪
横浜	福田俊一；出血で発症し手術を行ったテント下AVM7例の検討、日本脳神経外科学会第70回学術総会、2011/10/12～14、横浜
横浜	青木友和；再発膠芽腫に対するイフォスマイド、カルボプラチン、エトポシド(ICE)化学療法 第2相試験、日本脳神経外科学会第70回学術総会、2011/10/12～14、横浜
横浜	後藤正憲；血管撮影装置とMRIを利用したfusion 3D imageによる術前検討の有用性、日本脳神経外科学会第70回学術総会、2011/10/12～14、横浜
横浜	中久木卓也、福田俊一、新井大輔、後藤正憲、青木友和、塚原徹也；ハイビジョン内視鏡による経蝶形骨洞手術の経験、日本脳神経外科学会第70回学術総会、2011/10/12～14、横浜
岡山	中久木卓也、福田俊一、新井大輔、後藤正憲、青木友和、塚原徹也；ハイビジョンシステムを用いた内視鏡手術、神経内視鏡学会、2011/11/17～18、岡山
カリフォルニア	Tomokazu Aoki ; Efficacy and safety of monotherapy with bevacizumab in Japanese patients with malignant glioma at first or second relapse, 2011 SNO 16th Annual Scientific Meeting in Conjunction with the ANNS/CNS, 2011/11/17～20、California
千葉	後藤正憲；血管撮影装置を利用した3D fusion imageの有用性、第27回日本脳神経血管内治療学会総会、2011/11/24～26、千葉
岐阜	青木友和；再発悪性神経膠腫に対するTemozolomideとACNUの併用化学療法(TA療法)の臨床第I/II相試験、第29回日本脳腫瘍学会、2011/11/27～29、岐阜
岐阜	青木友和；初発の悪性神経膠腫及び再発の膠芽腫患者を対象としたNPC-08第I/II相臨床試験、第29回日本脳腫瘍学会、2011/11/27～29、岐阜

□投稿論文など

年	内 容	
2011	Trends in Neurovascular Surgery, Springer Wien New York	T.Tsukahara, L.Regli, D.Hanggi, B.turowski, H.-J.Steiger, Editors; Trends in Neurovascular Surgery, Supplement 112, Trends in Neurovascular Surgery, Springer Wien New York
2011	Trends in Neurovascular Surgery, Springer Wien New York	Daisuke Arai, Susumu Yamaguchi, Mamoru Murakami, Takuya Nakakuki, Shunichi Fukuda, Noriko Satoh-Asahara, and Tetsuya Tsukahara ; Characteristics of Carotid Plaque Findings on Ultrasonography and Black Blood Magnetic Resonance Imaging in Comparison with Pathological Findings. Trends in Neurovascular Surgery 112 15-20, Springer Wien New York
2011	Trends in Neurovascular Surgery, Springer Wien New York	Tetsuya Tsukahara, Shunichi Fukuda, Takuya Nakakuki, Mamoru Murakami, Daisuke Arai, and Susumu Yamaguchi ; Indication for Surgical treatment of Carotid Arterial Stenosis in High-Risk Patients. Trends in Neurovascular Surgery 112 21-24, Springer Wien New York
2012	Neurosurgery 68	Taketo Hatano, Tetsuya Tsukahara, Akinori Miyakoshi, Daisuke Arai, Susumu Yamaguchi, Mamoru Murakami. ; Stent Placement for Atherosclerotic Stenosis of the Vertebral Artery Ostium: Angiographic and Clinical Outcomes in 117 Consecutive Patients, Neurosurgery 68 108-116 BLAINLAB